

令和7年10月25日(土)に本校体育館にて「二十歳を祝う会・懇親会」を行いました。今年度より開催時期を変更しましたが、多くの同窓生に参加していただきました。同窓会役員、PTA役員の皆様の御尽力のおかげだと思っています。二十歳を祝う会は令和5年度卒業の16名が参加し、懇親会には36名の卒業生が集まることができました。近況報告や思い出話に華をさかせることができました。また、有志の職員バンドの演奏で大盛り上がりとなりました。来年も卒業生の皆様との再会を楽しみにしております。

## 同窓会総会議案

令和8年3月13日(金)に本校にて実施しました。総会で決定した事項を掲載します。ご確認ください。

### ●第1号議案 令和7年度 事業報告

- 「役員会」  
令和7年 5月30日(金)  
令和7年 10月24日(金)  
令和8年 3月13日(金)
- 「二十歳を祝う会・懇親会」  
令和7年 10月25日(土)
- 「同窓会だより第37号」の発行  
令和8年 3月
- 「総会」  
令和8年 3月13日(金)

### ●第2号議案 令和7年度 決算報告

#### 〈収入の部〉(単位:円)

項目	決算額	摘要
繰越金	96,578	前年度より繰越
会費	69,000	3,000円×23名分
受け取り利子	98	
合計	165,676	

#### 〈支出の部〉(単位:円)

項目	決算額	摘要
通信費	60,578	葉書、切手、発送代(同窓会だよりなど)
事業費	12,440	二十歳を祝う会・懇親会
雑費	880	振込手数料
合計	73,898	

収入 - 支出 = 91,778 (令和8年度に繰越)

### ●第3号議案 令和8年度 役員改選

- |     |                    |
|-----|--------------------|
| 会長  | 下谷 知子 (令和6年度高等部卒)  |
| 副会長 | 白井 絵理子 (令和6年度高等部卒) |
| 書記  | 浮須 葵生 (令和7年度高等部卒)  |
| 会計  | 松島 舞弥 (令和7年度高等部卒)  |
| 監査  | 河邊 晴代 (令和7年度高等部卒)  |
|     | 井上 友美 (令和6年度高等部卒)  |
|     | 中西 直美 (令和7年度高等部卒)  |
|     | 岩 塚 郁美 (令和7年度高等部卒) |

### ●第4号議案 令和8年度 事業計画案

- 「二十歳を祝う会・同窓会懇親会」の実施  
令和8年 10月3日(土) <予備日なし>
- 「同窓会総会」の実施 令和9年 3月
- 「役員会」の実施 計3回実施予定(5月、10月、3月)
- 「同窓会だより第38号」の発行 令和9年 3月

### ●第5号議案 令和8年度 予算案

#### 〈収入の部〉(単位:円)

項目	予算額	摘要
繰越金	91,778	前年度より繰越
会費	84,000	3,000円×19名分
受け取り利子	90	
合計	175,868	

#### 〈支出の部〉(単位:円)

項目	予算額	摘要
通信費	80,000	葉書、切手、発送代(同窓会だよりなど)
事業費	80,000	二十歳を祝う会・懇親会
雑費	1,000	振込手数料
予備費	14,868	
合計	175,868	

\*令和8年度の「運動発表会」、「ふれあい港フェスタ(文化祭)」も生徒保護者以外への公開は行わない予定です。



## 編集後記

本誌編集にあたり、御尽力いただいた、先生方、PTA役員の皆様、同窓生の皆様、心より御礼申し上げます。  
令和8年3月吉日 同窓会役員一同

印刷所: 社会福祉法人 名古屋市身体障害者福祉連合会 第二ワークス・第二デイサービス

# 愛知県立港特別支援学校 同窓会だより

第二十七号 発行日 令和八年三月三十一日



## 「おめでとうございます!」

校長 神原正意

令和五年度の卒業生の皆様、このたび二十歳を迎えられたことを心よりお祝い申し上げます。二十歳を祝う会では、卒業してから二年ぶりに学校で友達や先生と再会され、思い出に残る時間を過ごしていただけだと思いません。また、二十歳を祝う会と合わせて、同窓会懇親会も開催することができました。二十名以上の同窓生とご家族に参加していただき、他校へ異動した教員を含めた職員の余興などもあり、短い時間ではありましたが楽しい時間を過ごすことができましたのではないのでしょうか。来年も多くの皆様に参加していただけたらと思っています。

さらに生きる力をつけ大きく羽ばたいてる様子にも頼もしさを感じました。本校の在生にも伝え、将来の生活への糧にできるようなと感じました。令和九年度には、長時間通学を解消するため現在の校区を分け、名古屋市天白区に新設の肢体不自由特別支援学校が開校する予定です。来年度には、いよいよ開設準備室が立ち上がり、新設校開校に向けての本格的な動きがスタートします。本校から三分の二ほどの児童生徒が新設校に移る予定です。新設校の開校により、長時間通学が解消されより良い学習環境が整うことを期待しております。本校は、こうした大小さまざまな変化をしながら、これからも時代の変化に合わせて成長していきます。同窓生の皆様には、時代の変化を見据えつつ、今までの経験を生かしてさまざまなことに挑戦をし、社会で活躍してほしいと願っています。

最後にになりましたが、同窓生の皆様、ご家族様のご健康と、さらなるご活躍を心からお祈りし、お祝いの言葉とさせていただきます。

## 「二十歳を祝して」

高等部主事

永井孝行

10月25日(土)に、二十歳を祝う会が本校にて盛大に開催されました。二十歳を迎える方、そして応援に駆けつけた先輩、後輩の皆さんと、体育館一杯に昔の仲間がにぎやかに集うことができました。この会を開催するにあたり、同窓会役員やPTA役員の皆さんをはじめ、関係者の方々の御協力をいただき、本当にありがとうございます。二十歳を祝う会では、成人を迎えた皆さんのスライドを映しながら、ゆかりのある先生からコメントをもらいました。現在通っているところ、努力していること、最近楽しんでいることなど、それぞれの近況が報告され、笑顔あふれるひとときを過ごすことができました。二十歳という節目を迎え、より立派になった皆さんに会えてとてもうれしかったです。本校におめでとうございませう。休憩の間には、中学部時代に埋めたタイムカプセルの開封もありました。中学部3年生の自分が、二十歳の自分に宛てたメッセージを見て、「あのときこんなことを考えていたんだなあ」と振り返る様子も印象的でした。同窓会懇親会も、大変多くの卒業生が参加されました。「久しぶり!」という声があちこちで聞かれ、卒業生と、御家族と、先生とが入り混じって思い出話に花が咲いていました。また、恒例の職員バンドも登場しました。二十歳の卒業生によるリクエスト曲をみんなで歌ったり、校長先生もドラムで飛び入り参加して、場内一体となって盛り上がりました。職員による出し物として、ビンゴ大会で歓声が湧き上がり、お祝いムードでは「あの先生の二十歳のころ」が披露されました。これからも健康

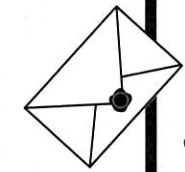
## 「祝成人」

同窓会長

野間幸江

二十歳を迎えられた皆様、おめでとうございます。希望と輝きに満ちあふれた二十歳という人生の大きな節目を迎えられたことにお祝いを申し上げます。また、これまで深い愛情を注ぎ、大切に守り、育ててこられたご家族様に深く敬意を表しますとともに心よりお慶びを申し上げます。今年度より「二十歳を祝う会・同窓会懇親会」を秋に開催することへ変更となり、令和7年10月25日(土)同窓生の皆様、ご家族様、先生方、多くの方々にご参加頂き、盛大に開催されました。二十歳を祝う会・同窓会懇親会」では、在学中にお世話になった先生方がバンド演奏を行なって下さり、二十歳の卒業生が在学中の思い出の曲を演奏して下さいました。また、余興やビンゴゲーム大会、景品に港特別支援学校の「まりんちゃん」グッズを準備して下さい、港特別支援学校ならではのオリジナルティ豊かで心のこもったとても温かいものでした。そして、会場の参加者様に一体感が生まれ、とても素敵な思い出の会となりました。この会を開催するにあたり、先生方、PTA役員の皆様、同窓会役員の皆様、関係者の皆様、ご協力頂きまして、本当にありがとうございます。最後にになりましたが、皆様のご健康と未来の輝かしい飛躍を心より祈念いたしております。

# 同窓生から近況の 便りが届きました



## 「近況報告」

令和五年度卒業生

堀場 智暉 保護者

智暉は特別支援学校を卒業してから、現在は三つの生活介護事業所『とも』『くーちゃん』の生活介護『WRK ON』に通所しています。

もともと環境の変化に敏感で、慣れない場所では体調を崩すことも多かったため、卒業後の新しい生活に馴染めるか心配していました。しかし、各事業所の皆さまが丁寧に関わってくれ、さつたおかげで、少しずつ安心して過ごせる時間が増えてきています。

最近では、活動内容にも興味を示すようになり、特に音楽や外出の時間は笑顔が多く見られるようになりました。スタッフの方々からも「表情が柔らかくなった」「自分から動こうとする姿が増えた」と声をかけていただき、家庭でもその変化を感じています。

卒業後の生活は大きく変わりましたが、智暉なりのペースで新しい環境に適応し、日々成長している姿に私たち家族も励まされています。今後も無理のない範囲で、彼が安心して楽しく過ごせる時間を積み重ねていければと思います。

## 「僕の辛かった18歳19歳」

令和五年度卒業生

堀田 一成

10月25日の同窓会を企画してくれた皆さん本当にほんとうにありがとうございます。ごさいました。

まず突然ですが、皆さんは人生を捨てたくなるほど、死にたいと思ったことはありませんか？ 僕はあります。

人間関係で上手くいっておらず、自分を卑下しながら生きて来ました。お出掛けに行っても、死ぬ事で頭がいっぱいになりました。人生も楽しくなく、いつそのこと「死んでやろう」と思いながら生きてました。

当時死ぬ時は明和寮のところで人生を終わらせようと考えており、「トラックに轢かれて死のう」そう考えていました。死ぬ時のすごく怖かったです。でも僕の人生を変えてくれた命の恩人がいました。それは「成田さん」です。僕が悩んでいたら、「そんな事で悩んでんじゃねえ！ お前男だろ！！ 適当に生きればいい！！」と言われました。その瞬間こんな僕でも生きていいんだと思いました。これが僕の学校を卒業した2年間の出来事です。

僕が同窓会当日まで生きて来れたのは「成田さん」のおかげです。同窓会を企画してくれた皆さん本当にほんとうにありがとうございます。これからも頑張つて生きて行きます。

## 「近況報告」

令和五年度卒業生

大宮 陸

2年前の春、学校を卒業し新たな生活がスタートしました。私は今、トヨタカローラ愛知という会社で事務職として働いております。

初めて社会に足を踏み入れた一年目は社会の厳しさをたくさん学びました。自分の仕事に対する姿勢であったり、仕事と休息の切り替え、言葉遣い等の指摘をたくさんいただきました。

今となっては学生気分が抜けておらず自分自身に甘かったなと思いましたが、なかなか馴染めず、休みがちになってしまった時期もありましたが、皆さんの支えで支えていただき今も働くことができています。

2年目に入った25年の4月からは部署を異動になり一年目以上に仕事を任せていただけるようになり、思うように仕事が回らず悔しい思いをしたり、自分自身に不甲斐なさを感じることもありましたが感謝の言葉をいただくこともありますが、皆さんの支えを感じています。

そして、一生懸命働いたお金で買い物をしたり趣味を楽しんだりするのが大好きです。まだまだ社会人としては未熟であり、たくさんご指摘をいただくこともありますが、真摯に受け止め改善し、社会人として磨きをかけていかなければいけないなと思っております。

大前提として今の自分があるのはここまで支えてくださった家族や先生、身の回りの方がいてくださったからであり、本当に感謝をしています。ありがとうございます。

自分ができる最大の恩返しはこれからも一生懸命仕事をして、元気に過ごすこと

## 「近況報告」

令和六年度卒業生

白井 友芽

私は学校を卒業後、NTTデータという特例子会社に就職し、在宅勤務で働いています。業務内容は主にウェブサイトの改修をおこなっています。

働く以前は私のように重い障がいを抱えていても働くことができるのかと不安を感じていましたが、さまざまな障がいを持った先輩方が生き生きと働かれているのを見て、今では私も自信を持って働くことができている。

毎日の業務を通してウェブに関する知識が増えていくのがとても楽しいです。また、在宅勤務では周りの状況をすぐ把握できないため、困ったときには自分からSOS発信をするよう心がけています。

仕事をしていく中で印象に残っているのは、自分が携わった納品物がお客様に渡った瞬間や、お給料を使つて友達と遊ぶ機会が増えたことです。

最近では最寄り駅から名古屋方面まで一人で行けるようになったことで、プライベートでも社会と繋がる喜びを感じています。

四月からの社会人二年目は、勤務時間を三十分延ばす予定です。商業科で身につけたコミュニケーション能力を生かして、これからも社会の役に立ち続けられるよう頑張つていきたいと思ひます。

## 「近況報告」

令和六年度卒業生

榑崎 朋果 保護者

皆様、お変わりありませんか。朋果は言葉が出てこないで、母が本人の気持ちになつて書いてみます。

みんな、お久しぶりです。卒業式以来ですね。今まではありがたいことに、私には担任のセンセイという心強い大好きなサポーターがいました。そして学校がありました。

通学しないことに私は最初慣れず、今は長い休みなんだと思つていました。それがいつまでたつても、ある曜日は送迎車が来て生活介護へ、またある日はお母さんの車で、別の支援事業所へ。

毎日日替わりの生活、家に帰るのは前より早い時間になつたけどいつものあの学校には行かないんだなあ、これが社会に出たつてことかなあつて思ひます。

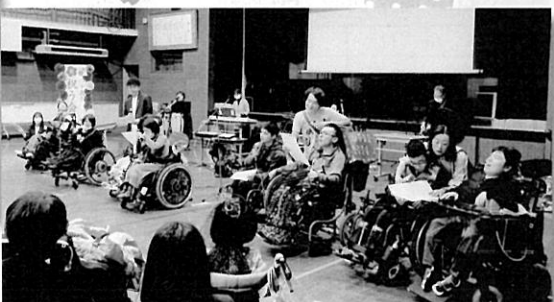
変わらなないのは家に帰つて来ると、妹がいて、お母さん、ヘルパーさん、たまに看護師さん、夜はパパがいる。相談支援員さんも私のことを助けてくれてるみたい。毎日の生活にも慣れてきたよ。

みんな私が朝行くと、笑つて、朋ちゃんつて声かけてくれます。嬉しくて大笑いしてしまうの。みんなで遊んだり、製作？もしたりして、結構楽しんでます。お泊まりにも時々行きます。一瞬さみしいけど、まわりの人が助けてくれるし、慣れるとよく眠れるようになりました。

## 記念写真



職員有志による出し物で盛り上がりました



## 祝う会

二十歳を

## 令和8年度の 二十歳を祝う会・ 懇親会について

令和六年度卒業生

中島 さくら 保護者

さくらの進路先は、パパママハウス「大地の家」憩いの学校の3か所へ行つています。パパママハウスでは午前中コーヒの焙煎をし毎月一回区役所で販売もしています。

前日には準備のお手伝いをしていて、さくらの人生で思つてもいかなかったお給料が頂けることにとても驚き感謝しています。使い道は決まっておらず貯金をしていましたが、今度さくらの大好きな作品の展覧会があるので、さくらが選んだ物を購入しようと思ひます。今から楽しみです。

大地の家では創作やレクリエーション、時にクッキングを楽しんでいます。月一の舞タイムで気候の良い時は大好きなお散歩へ行つています。

憩いの学校では午前中お風呂に入り、午後は創作をしたり好きなことをしたりして過ごしています。床に降りて探検するのが楽しいみたいです。通所日が偶然同級生が多く、さくらも安心して通えています。

卒業ギリギリまで悩んだ進路、社会に出る事への不安がありました。心配もよそに本人は慣れるのも早く、毎日笑顔で通所しています。

さくらが楽しく安心して通えているのは支えてくださるスタッフの方々、仲良

令和8年度の二十歳を祝う会・懇親会は10月3日(土)に開催します。本来であれば10月末に開催する予定でしたが、学校体育館の改修工事が10月末から始まるため、他の学校行事との調整の結果、少し時期が早まります。案内の葉書を卒業後5年の方までお送りします。また、予備日をとることが難しいため令和8年度に関しては、予備日の設定を行いません。みなさんで天気の良いことを祈りましょう。